

は じ め に

平成 25 年度は、「滋賀県基本構想」の計画期間4年の折り返し点を迎える重要な年であり、同時に「滋賀県行財政改革方針」の3年目で、持続可能な財政基盤を確かなものにする年でもあります。

このため、平成 25 年度当初予算においては、「住み心地日本一の滋賀」の実現を目指し、基本構想に掲げる8つの未来戦略プロジェクトに予算を重点的に配分するとともに、重点テーマに加え、いじめ問題や、防災対策、経済・雇用対策等の喫緊の課題に対しても、確かな方向性を示し、その実現に努めた結果、予算規模は2年ぶりに前年度当初予算を上回ることとなりました。

あわせて、国の「日本経済再生に向けた緊急経済対策」に呼応し、本県においても補正予算を編成するなど、平成 25 年度当初予算と一体的に対応し、切れ目のない経済対策に取り組んだところです。

一方、経済情勢等を踏まえた県税の見通しや、国の地方財政対策における「地方公務員給与費の削減」を前提とした地方交付税の削減などの影響により、平成 25 年度当初予算における財源不足額は、行財政改革方針の見込額を上回り、247 億円となりました。

このため、歳出面においては、選択と集中の徹底等による事業見直しに計画以上に取り組むこととしたほか、歳出の取り組みだけでは解消できない財源不足については、財源対策のための基金の取り崩しや県債の発行等で対応することとしました。

さらに、県政を取り巻く様々な課題の解決に向けて、最少の経費で最大の効果が得られるよう、部局の枠にとらわれない横断的な視点に立ち、関係部局が共通の目標を持って緊密な連携を図るなど、組織の持てる力を最大限に発揮できるように努めたところです。

この財政事情は、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを県民の皆さんに広く知っていただくため、年2回(5月と11月)定期的に公表しているものです。

今回は平成 25 年度予算の概要、平成 24 年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況や各種財政指標の状況などをお知らせします。

目 次

I 滋賀県財政の動向

1 経年変化で見る滋賀県財政の状況	1
2 財政指標から見た滋賀県財政	10
3 財政健全化に向けた取り組み	12

II 一般会計および特別会計の状況

1 平成 25 年度予算の概要	15
(1) 当初予算編成の背景	15
(2) 当初予算編成の基本方針	16
(3) 当初予算の規模等	17
(4) 当初予算のポイント	20
(5) 一般会計当初予算の内容	26
(6) 一般会計平成 25 年 2 月補正予算の状況	33
(7) 特別会計当初予算の状況	34
2 平成 24 年度下半期の財政状況	35
3 収益事業の経営状況	39

III 公営企業の業務状況

1 病院事業の業務状況	40
2 工業用水道事業の業務状況	44
3 水道用水供給事業の業務状況	48

IV 健全化判断比率および資金不足比率の概要

1 健全化判断比率および資金不足比率の概要	53
-----------------------	----

付 表	56
-----	----
